

2010年5月13日

アートアワードトーキョー丸の内実行委員会

新たな才能を、世界へ向けて発掘するパブリックアワード展

「アートアワードトーキョー 丸の内 2010」 グランプリ他12賞 受賞作品決定

丸ビル・新丸ビル隣接 行幸地下ギャラリーにて全45作品 5月30日(日)まで展示中

アートアワードトーキョー丸の内実行委員会は、4月29日(木・祝)～5月30日(日)の期間、丸ビル・新丸ビルに隣接する公共空間、行幸地下ギャラリーにおいて全国の美術大学・大学院の卒業制作から選ばれた、45名の作家の作品を展示する「アートアワードトーキョー 丸の内 2010」を開催しています。

『アートアワードトーキョー 丸の内』は若手アーティストの発掘・育成と同時に、丸の内を訪れる方々にアートを楽しんでいただくことを目的とした、現代美術のアワード展です。4月29日(木・祝)に会場内で最終審査会を実施した結果、各アワードが決定しました。本年度4回目を迎え、全体的なレベルが向上したことで、審査が混戦となった中、インターネット社会との関わりを鋭くとらえたメディアアート作品がグランプリ賞に選ばれました。受賞作品を含め、全作品は5月30日(日)まで展示しています。

アートで賑わう春の丸の内、未来を占う若き才能の競演をお楽しみください。



グランプリ賞：松島俊介(情報科学芸術大学院大学)

『VOICE-PORTRAIT ~self-introduction~』



【作者コメント】

今回の結果は自分にとって喜びと同時に大きな驚きでした。この受賞を糧とし、今後もさらに制作活動に専念していきたいと思えます。

【審査員評】

インターネット動画投稿サイトに上げられている、見知らぬ人々の自己紹介画像、それぞれが自分について語っているビデオ映像と音声を流用して作られている。元の各自の映像を観察、研究し、そのわずかな表情の変化を自分の表情として転換した。作家の若いユニセックス的ともいえる優しい顔立ちは、不思議と男女を問わず「本人」らしく見えている。



準グランプリ賞：岩名泰岳(成安造形大学)

『(左)蜜の木 / (右)そして、また生まれる』



【作者コメント】

三重県の小さな村で画家になろうと思ったのは14才の時でした。村の自然の中で絵を描いてきましたが、今回のような素敵な賞を頂くことができ本当に嬉しいです。今後、海外で制作を始めていきますが、今回の受賞は大きな励みになりました。

【審査員評】

今、絵画に新しさを生み出すことは大変だと思う。作者は、故郷である三重の山奥で森の中に入って行って、暗闇でスケッチブックを開き、草木や樹液といったマテリアルと対話しながら絵を描いていると聞いた。その絵画へ向かう姿勢、描き続ける可能性に我々は注目した。今後の活躍を期待しています。



審査員賞



名和晃平賞：川上雅史(京都市立芸術大学)
『泣く俺未完 1b』



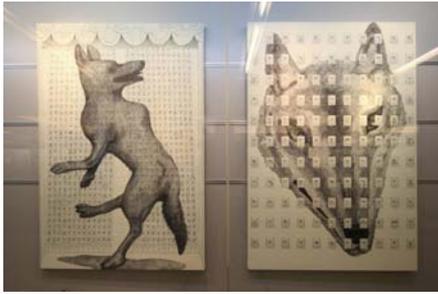
天野太郎賞：枝史織(東京藝術大学)
『舞台(左上)／ダム(左下)／
競馬場(右上)／プール(右下)』



植松由佳賞：黒川潤(東京藝術大学)
『Faces』



後藤繁雄賞：松下徹(東京藝術大学)
『梅図 on the wall』



木幡和枝賞：戸田沙也加(女子美術大学)
『(左)少女群像図「劇場」／(右)少女群像図「窓」』



小山登美夫賞：佐藤翠(東京造形大学)
『Uplift room』



佐藤直樹賞：松隈無憂樹(東京造形大学)
『(左)それは、さして重要な事ではありませんでした
／(右)空も閉じ込める奴ら』



長谷川祐子賞：山崎由紀子(京都造形芸術大学)



オーディエンス賞：寺口朝葉(金沢美術工芸大学) 『reproduce itself』

※オーディエンス賞：4月29日(木・祝)～5月9日(日)の投票期間中、「アートアワードトーキョー 丸の内 2010」会場で観客の皆様の投票により決定しました。



【投票参加者コメント】

丁寧な仕事。きれいな音楽みたいだと思いました。

(20代/女性)

パツと眼を引かれた点と、さらに近くで鑑賞して繊細な点に二度感動しました。(30代/女性)

迫力があつた。力強い。(40代/女性)

感性と技術のバランスが優れている。(50代/男性)



シュウ ウエムラ賞：小浪次郎(東京工芸大学)

『anomaly and normal 変則と普通』

※シュウ ウエムラは、「the art of beauty」すなわち、美とアートの融合を追求し続ける化粧品ブランドです。才能溢れる若手アーティストの育成に貢献していきたいと考え、昨年よりシュウ ウエムラ賞を設立しました。受賞者には、デザインコラボレーションの機会が与えられ国際デビューへの扉が開かれます。



【審査員評】

光、構成、センス、そして視点のユニークさ。都会的エッジネスとポエム。一瞬一瞬の日常のはかなさ、美しさをとらえて、無限の感情を湧き上がらせる作品に高い将来性を感じました。

「アートアワードトーキョー 丸の内 2010」 開催概要 ～現在開催中～

開催日時: 4月29日(水・祝)～5月30日(日)展示 会期中無休

時 間: 11:00～20:00

開催場所: 行幸地下ギャラリー 東京都千代田区丸の内2-4-1(行幸通り地下)

入 場: 無料

内 容: 若手アーティストの発掘・育成を目的とした現代美術のアワード展。若い多彩な才能が、行幸地下ギャラリーというパブリックな場所に一堂に介するのが最大の魅力です。国内の美術大学・芸術大学の卒業制作から、一次審査の対象となる作品を選定した上、一次審査を通過した45名の作品を一同に展示。2007年にスタートして以来、本アワードに選ばれた多くのアーティストが個展の開催やグループ展への参加、国内のアートフェアにて注目されるなど、各方面で活躍しています。本アワードは若手アーティストの登竜門として着実に成果を上げています。

主 催: アートアワードトーキョー丸の内 2010 実行委員会

特別協賛: 三菱地所株式会社

協 賛: shu uemura

お問合せ: アートアワードトーキョー丸の内2010実行委員会事務局

URL <http://www.artawardtokyo.jp> Mail: info2010@artawardtokyo.jp

<この件に関する報道関係の方のお問い合わせ先>

三菱地所ビルマネジメント株式会社 丸の内PR事務局 (平日9:30～18:00)

TEL 03-3403-0292 / FAX 03-3403-0359

E-mail marunouchi@ozma.co.jp

<この件に関する一般の方のお問い合わせ先>

丸の内コールセンター (11:00～21:00*)

* 日曜日・祝日は20:00まで(連休の場合は最終日のみ20:00まで)

TEL 03-5218-5100